

日吉台地下壕保存の会

会報

 * 平和のための戦争展 *
 *
 * イベント特集 *
 *
 * 私の町から戦争が見える *
 *

第20号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込 (口座番号) 横浜2-62997

(加入者名) 日吉台地下壕保存の会

目 次	頁 1
○私の町から戦争が見える	1
○平和のための戦争展	2
実施要項	2
○平和のための戦争展	2
賛同のお願い	2
○登戸研究所とは	2
○第2回イベント打ち合せ会	3
○第6回幹事会報告	4

「私の町から戦争が見える」

……「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の謎を追う……

太平洋戦争が終わって半世紀近くになり、戦争を知らない世代が圧倒的に多くなりました。

ところが、昨年から今年にかけて、従軍慰安婦問題やB・C級戦犯の補償を求める動きなど、アジア各地から戦後補償を求める訴訟が数多く提起されました。その最中に他方ではPKO協力法により自衛隊が海外に派遣される事態も生じ、これまたアジア各地からの危惧が表明されています。

あの一五年間にわたった戦争とは何だったのか、もう一度深めつつ平和のあり方を考えあつていくことが求められているよう思います。そこで、川崎にあつた謀略秘密基地の陸軍登戸研究所と、日吉にあつた海軍の連合艦隊司令部などが使用した地下壕の、今まで明らかになつた調査をふまえて、「私たちの町から戦争が見える」というテーマで、展示・討論などを行うこととしました。是非、御協力をお願い申し上げます。

主催 平和のための戦争展実行委員会
 共催 川崎市中原教育学級記録編集委員会

(川崎市教育委員会主催事業の委員会)
 川崎市中原平和人権尊重学級企画委員会
 (川崎市教育委員会主催事業の委員会)
 日吉台地下壕保存の会

平和のための戦争展
実施要項

平和のための戦争展
賛同のお願い

日時 一九九二年（平成四年）二月二二日（土）午後一時より
二月二三日（日）午後四時まで
場所 川崎市平和館
内容

別紙の通り「平和のための戦争展」を行ふにあたって、多
の人々および団体の賛同を呼びかけます。
なお、賛同してくださる場合は、左記の御協力をお願い致
します。

記念

△展示 「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の遺品や写真
△シンポジウム 「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の調査
△討論 の現状および今後の課題

△演説 △若者たちによる平和メッセージ

△公演 野麦オーブンスクールの生徒による発表、

△歌舞・組曲・象列車がやってくる、手話ダンス、
△映画 白旗を持つ少女、戦場ぬ童ほか

△ビデオ 登戸研究所、日吉台地下壕ほか

△運営 賛同団体と賛同する個人によつて実行委員会が作られ、

△その実行委員会が運営に当たる。

△ブレイベント 「登戸研究所」と「日吉台地下壕」の現地見学

△登戸研究所 二月二五日（日）午後一時、小田急線生田駅
△改札口集合。参加費（資料代など）五〇〇円（当目徴収）

△自由参加（申込不要）

△日吉台地下壕 二月二三日（土）午後一時半、

△日吉地区センター（東横線日吉駅下車徒歩六分）集合。

△登戸研究所とは

△参加費（資料代など）五〇〇円（当目徴収）。
△定員二十五名（申込制・先着順。往復ハガキに、住所・氏名・
電話番号を書いて、申し込む。申込先は、

△二三三 横浜市港北区下田町三一-一五一、七 寺田貞治
●参加者は必ず長靴と懐中電灯を用意してくること。

△登戸研究所は、一九一九年（大正八年）設立の陸軍科学研
究所に始まる。第一次世界大戦が國家総力戦の様相を呈し、
△武力戦だけでなく、後方機動戦、情報獲得戦、宣伝戦が重要
な側面を示すようになつた。そこで陸軍はこうした研究を急
いだのである。

そして、一九三七年（昭和二年）には科学研究所内に「秘密戦資材研究所」（篠田研究室）を設置したが、これが登戸研究所の誕生といえるものであった。その後、一九三八年（昭和三年）には川崎市登戸に組織が拡充され、一九三七年（昭和二年）には川崎市登戸に移転し、本格的研究を開始することとなつた。一九三八年（昭和三年）に「後方勤務員養成所」が登戸に開所され、一九三九年（昭和四年）四月中野に移転し、陸軍中野学校と呼ばれるようになつた。

秘密戦とは、宣伝・防諜・諜報・謀略を任務とする戦いであり、登戸研究所は「最悪ノ場合ニ用フル」兵器も含め、あらゆる秘密戦用の兵器を研究・開発・製造・技術指導していた機関であつた。

登戸研究所の組織と研究は次のようであつた。

- 第一科①（物理関係全般）
 - 課者用無線通信機、無線探査機材、電信・電話の装置器、怪力光線、風船爆弾、可搬用録音器、有線探査装軌車、熱戦利用兵器、宣伝用器材、宣伝用自動車
- 第二科②（科学関係全般）
 - 秘密インキ、課者用カメラ、毒物、細菌、特殊爆弾、時限信管、風船爆弾の一部
- 第三科③（経済諜略資料）
 - 印刷関係資料の調査・研究及び製造、紙幣偽造、書類・パスポート・各種証明書の偽造
- 第四科④（第一、第二科が研究開発した兵器を実用化するための最終実験及び製造工場の管理・運営）
- 補助業務、中野学校・憲兵指令部・各地練習参謀部等各種秘密戦資材の技術指導

第二回 イベント

*日吉台地下壕関係②寺田

加賀谷・白鶴・亀岡・林

中沢・橋本・喜田・谷藤

足立・岡上・小園・落合

打ち合せ△△

報告口

日時 一九九二年一〇月一日

場所 日吉地区センター和室

箕浦・馬養

午後五時半～八時

日吉台地下壕関係者

郡司・陣内・村田・橋本

背戸・吉池・島田・木下

足立・岡上・小園・落合

登戸研究所関係者

渡辺

内容 司会②寺田

日吉台地下壕

一、自己紹介

寺田

二、イベントの打ち合せ

寺田

○主催 平和のための戦争展

寺田

○後援 川崎市教育委員会

寺田

実行委員会

寺田

○共催 *川崎市中原平和教育

寺田

学級記録編集委員会
*川崎市平和人権学級
企画委員会

寺田

（予定）

2、プレイベント

日吉台地下壕と登戸研究所の現地見学会を行ふ。

3、賛同の要請と要件

※加入の期限

第一次募集②一〇月一日
第二次募集②一一月五日

○賛同団体（一〇月一日現在）

寺田

*川崎高校生平和ゼミナール

寺田

*野麦オーブンスクール

寺田

*賛同金

寺田

○賛同人（一〇月一日現在）

寺田

個人②一口一〇〇〇円

寺田

